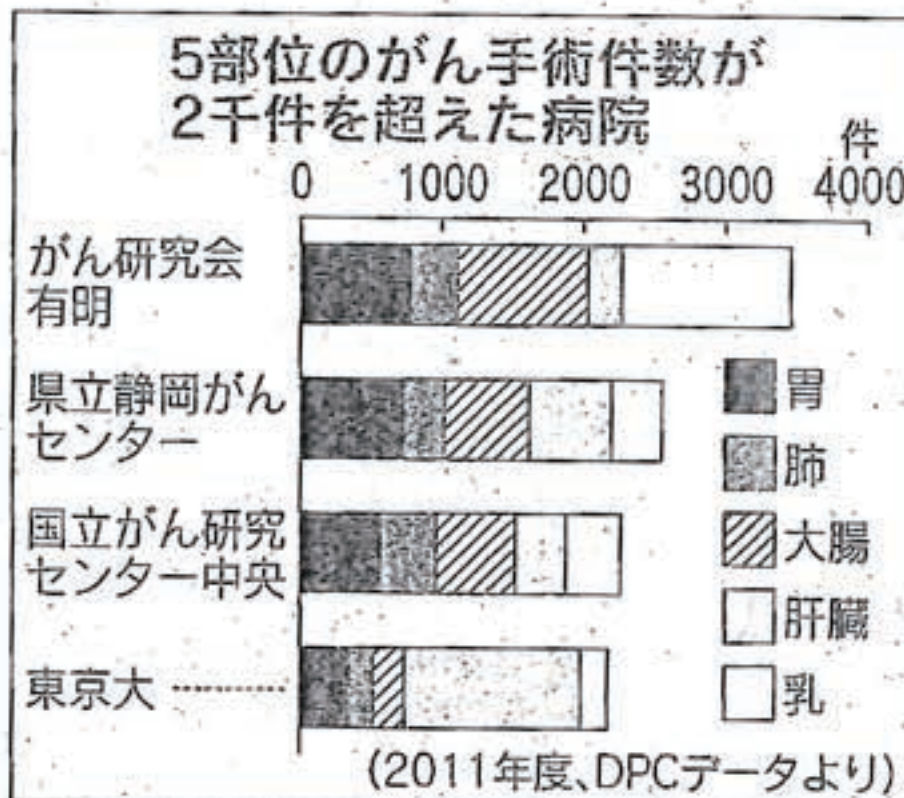


# がん手術、集約化進む

## 日経実力病院調査



がんの中で患者数が多い5部位(胃、肺、大腸、肝臓、乳)の手術が年間2千件を超える病院は4施設あり、手術の集約化が進んでいることが26日、日本経済新聞社が実施した「実力病院調査」で分かった。地域の中核病院で、診療データを患者サービスの向上に生かす取り組みが広がっていることも判明した。

病名や手術方式で医療費を定額とする「診断群分類別包括払い(DPC)制度」など5つの公開データを集約し、病気の別治療実績や診療体制の充実度を分析した。全国の病院約6千施設が調査対象となった。

## 5部位 4施設が年2000件超す

がん5部位の手術件数の中で順心病院(兵庫県加古川市)などが最も多かったのは、がん研究有明病院(東京・江東区)で2011年度は3458件(胃780件、肺331件、大腸919件、肝臓235件、乳1193件)だった。

県立静岡がんセンター(静岡県長泉町)、国立がん研究センター中央病院(東京・中央)、東京大病院(同・文京)も2千件を超えた。これらの病院は体への負担が小さい手術方式を採用したり、放射線治療や抗がん剤を組み合わせた治療の効果を高めている。

ほかの病気では、狭心症で小倉記念病院(北九州市)など3施設、脳卒が80点で続いた。

安全確保などに関する日本医療機能評価機構の審査結果は100点満点に換算した。嬉野温泉病院(佐賀県嬉野市)の81点、亀田総合病院(千葉県鴨川市)の80点が続いた。

がん5部位の手術件数の中で順心病院(兵庫県加古川市)などが最も多かったのは、がん研究有明病院(東京・江東区)で2011年度は3458件(胃780件、肺331件、大腸919件、肝臓235件、乳1193件)だった。

県立静岡がんセンター(静岡県長泉町)、国立がん研究センター中央病院(東京・中央)、東京大病院(同・文京)も2千件を超えた。これらの病院は体への負担が小さい手術方式を採用したり、放射線治療や抗がん剤を組み合わせた治療の効果を高めている。

ほかの病気では、狭心症で小倉記念病院(北九州市)など3施設、脳卒が80点で続いた。